



砂取小だより

No. 9

R 6. 1 2. 1 6

熊本市立砂取小学校
校長 竹原 欣哉

「いつでもいい感じ」(規律) 「いつでもお先にあいさつ」(礼節) 「いつでもやってみよう」(挑戦)

縦割り班そうじ (12月2~6日)

この週は「縦割り班そうじ」の週でした。1年生から6年生までと一緒に掃除をすることを通して、交流を図ることを目的としています。



6年生を中心に、高学年の子が低学年の子にやり方を教えたり、異学年で協力してごみを集めたりする姿があちらこちらで見られました。寒い季節ですが、心温まる光景でした。



全校集会 (12月5日)

今月は「人権月間」です。それぞれの学年や学級、また全校で、いじめ根絶はもとより、子ども同士の相互理解や人権に関する課題などを考えます。これは、3つの合言葉の「いつでもいい感じ」にあたります。最も大切にしたいと考えることです。

5日の全校集会では、下のような話をしました。

全校集会講話 「だからわるい」

一匹の犬が、体を前にかがめて、今にもかみつきそうな勢いで、はげしくほえたてています。そのすぐ鼻先には、一匹の子猫がいます。



子猫はうしろの塀ににびたりと体をよせて、ふるえて鳴いています。

すぐそばには、二人の男の子が立っていて、その様子を黙って見ていました。

近くの家の窓からのぞいていた女の人が、とぶようにかいだんからかけおりました。女の方は、犬をおっぱらうと、男の子たちをしっかりとつけました。

「あなたたち、何してんのよ！」

「えっ？ ぼくたち何もしてないよ。」

と、男の子たちは、びっくりしたように、いいました。

すると女の方は、まっかにおこっていました。

「だからわるいのよ！！」



この話を整理すると、子猫=いじめられている人、犬=いじている人、二人の男の子=黙ってみている人(傍観者)、女の人=助けてくれた人、となります。

助けてほしい子猫にとっては、女の人だけが味方で命の恩人です。黙ってみていた男の子が何もしないことは、いじているのと同じことです。

つまりこの話は、いじめに関して黙ってみている人(傍観者)は、いじめに加担していることと同じように悪いということを教えてくれています。